

■発行：富良野市議会 ■編集：議会広報特別委員会 [富良野市弥生町 1-1 TEL.39-2322]  
■ウェブ <http://www.city.furano.hokkaido.jp/shigikai/>



上段：虹いろ保育所開所式 下段：(左)山部ふれあいまつり、(右)東山地域ふるさと祭&JAふらの農業祭

平成27年  
第2回

# 定例会

6月12日～6月26日  
(15日間)

## 主な内容

- ・ 議決結果 ..... P 2
- ・ 一般質問  
10名の議員が市政全般について質問  
..... P 2～7
- ・ 永年勤続表彰・本会議等の開催状況（平成26年）  
..... P 7
- ・ 可決された意見書・議会日誌・編集後記等  
..... P 8

## 平成27年 第2回 富良野市議会定例会議決結果表

平成27年6月12日～6月26日(15日間)

議案番号	事 件 名	議決月日	議決結果
議案第1号	平成27年度富良野市一般会計補正予算(第3号)	6月26日	原案可決
議案第2号	平成27年度富良野市介護保険特別会計補正予算(第1号)	6月26日	原案可決
議案第3号	平成27年度富良野市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	6月26日	原案可決
議案第4号	富良野市総合戦略有識者会議設置条例の制定について	6月26日	原案可決
議案第5号	富良野市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	6月26日	原案可決
議案第6号	富良野市国民健康保険税条例の一部改正について	6月26日	原案可決
議案第7号	富良野市過疎地域自立促進市町村計画の一部変更について	6月26日	原案可決
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	6月12日	適任
報告第1号	繰越明許費繰越計算書について	6月12日	報告済
報告第2号	事故繰越し繰越計算書について	6月12日	報告済
意見案第1号	地方単独事業に係る国保の減額調整措置の見直しを求める意見書	6月26日	原案可決
意見案第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書	6月26日	原案可決
意見案第3号	「子どもの貧困解消」など教育予算確保・拡充と就学保障の充実、「30人以下学級」の実現を目指す意見書	6月26日	原案可決
その他会議に付した事件	監査委員報告		
	・例月出納検査結果報告 (平成26年度1月分～4月分、平成27年度4月分)	6月12日	報告済 5件
	発言取り消しの申し出について	6月23日	許可
	閉会中の所管事務調査について(総務文教・保健福祉・経済建設)	6月26日	許可3件

広瀬 寛人

〔ふらの未来の会〕

### 住宅政策は

問 所管部署と範囲について。

答 今後、策定される総合戦略の中には住宅政策係が担う施策があるが、高齢者や子育てに対して福祉の向上を目的とするものは、これらの目的を所管する部署が担当することが望ましいと考える。

### 地方版総合戦略への対応は

問 基盤産業と非基盤産業の相関性把握など計画立案と検証に必要な客観的指標について。

答 国は地域経済に関わる様々な人の流れ、人口動態、企業間取引等のビックデータを収集し、わかりやすく「見える化」したシステムを開発し、「地方版総合戦略」の立案、実行、検証を支援するために「地域経済分析システム」を公表している。市としては、

### 一般質問

このデータ活用を基本的

### 投票結果の分析は

に考えるが、さらに具体的な施策の根拠となるべく数値が必要な場合には、産業連関表やオープンデータも活用して行く。

問 高齢社会となり他者の協力なしに投票所まで行くことのない方、自筆で候補者名を書く行為に困難を感じる方が増えているが現状分析と改善への取り組みは。

答 有権者からの投票に関する改善要望事項につきましては、投票率向上のためにも投票しやすい環境づくりは大変重要なことと取り組むべき課題と捉えている。十分検討しながら今後の方針を立てたいと考える。



選挙結果データとして作成

後藤 英知夫

〔雄飛の会〕

## 農業担い手確保は

**問** 農業担い手育成センターの運営状況は。

**答** 昨年10月に設立した富良野市農業担い手育成協議会は、担い手育成センターを拠点に「新規参入コース」、「雇用就農コース」、「体験実習コース」を設定して担い手対策を一元的に進めている。これまでの募集状況は「新規参入コース」で73組と面談9件の相談があり、1組2名が審査会を経て研修に入っている。「雇用就農コース」では相談を受けた2名の内1名が直接、生産法人に就職し、2組4名が山部地域の生産法人で雇用就農をめざし研修を開始したところである。

**問** 今後の展開は。

**答** 現在は作物をミニトマト、地域を東山地域に限定しているが、経営シミュレーション等を行いながら新しい作物にも取り組む予定。また、山部地域にお

いて受け入れ体制、推奨する営農類型について検討しており、受け入れ態勢が構築でき次第、その他の地域での受け入れ体制づくりを進めていく。



担い手育成センター

**問** 協議会の法人化に向けた進捗状況は。

**答** 農地利用円滑化事業の実施に関して、上川総合振興局と事前相談を行っている。一般財団法人を想定して、道内先進地において手続き等について調査している。本年4月の富良野市農業担い手育成協議会の総会で、平成28年度から就農予定地の先行取得を可能とするため、協議会の一般財団法人化と農地利用集積円滑化事業団体認定を進めることを確認した。

岡野 孝則

〔民主クラブ〕

## 第5次富良野市総合計画の前期検証と対策は

**問** 前期検証時期と住民に周知する方策は。

**答** 本年、6月に各課に対し指示し、具体的な課題等は検証結果を取りまとめた後、広報ふらのや市ホームページで公表予定。

**問** 計画の達成率と今後は。

**答** 54の施策の内、学校施設など27の施策は目標値に達し、今後は後期に引き継ぐべき施策の精査を行っていく。

## 自治基本条例制定の考えは

**問** 本条例の検討経過は。

**答** 自治体運営の基本原則を定める最上位の規範で街づくりの憲法。平成15年度、市民によるまちづくり条例市民委員会が発足し、情報共有とまちづくりへの市民参加が基本として検討されてきた。今後情報共有を前提とする協働の着実な実践を更に推進することが望ましい。

## キャリア教育の推進体制は

**問** キャリア教育は（人間関係形成能力・意志決定能力・情報活用能力・将来設計能力）4点の能力を育むことができる。導入し12年経過、現在子ども達はどの様に成長したか。

**答** 4点を育み、具体的な成果として、小学校は調べ学習、働く姿を見る、地域の豊かな環境と深くかわり、自分の仕事や将来を考えて行く様になった。中学校は、様々な職業を体験し自らの進路について現実的に考え、労働の大切さ、勤労観の意識が高まり、好ましい人間関係を作る態度が形成されてきた。



あおぞら保育所園児

今 利 一

〔市民連合議員会〕

農村部の人口減少対策は

**問** 住み続けることができる条件と環境づくりについて伺うが、富良野の人口減少は山間部と言われる東部、東山、山部の減少が著しくなっている。市は、この地域の人口対策をする事こそが先決と考える。その方策の一つとして、教員住宅の活用、商店の整備が必要と考えるが市の考えを伺う。

**答** 現在、麓郷・布礼別・西達布地域に於いて、各振興会と協調して活用を図っている。



布礼別教員住宅

移住者や長期滞在者の対応は

**問** 近年、北の峰地域に於いて外国人の居住が見受けられる。行政の対応について伺う。

**答** 住民とのトラブルは聞いていない。地域行事にも参加し、良好な人間関係。ゴミの分別は3カ国語による概要版を配布し対応。

選挙制度改革への対応は

**問** 投票率低下と公職選挙法の改正に伴う選挙権年齢の引き下げの対応について選挙管理委員会に伺う。

**答** 昭和54年の市議選の93.04%から年々低下、今回は70%台を切り過去最低の68.08%となった。法改正を伴う選挙制度の改正などは、全国市区選挙管理委員会連合会等の団体を通じて総務省に要望していく。  
若者の関心を高めるためには授業で身近な社会問題や地域課題などを扱う「主権者教育」が急務であると考えられる。委員会の対応として、選挙権年齢の引き下げに伴う啓発活動を広報ふららを通じ情報発信をする。

萩原 弘之

〔民主クラブ〕

地域総意の山部診療所開院

**問** 診療所の経営は民間法人が行う事となったが、その支援とセンター病院との連携は。

**答** 地域住民からの強い要望により医療体制の確保・維持するため、社会医療法人博友会が開院をする事となった。開設にあたり施設確保・設備等に係る支援をすると共にその運営に対しても助成を行うこととした。医療情報等については市内医療機関と同様にセンター病院と連携を図っていく。

**問** 診療所に対する地域要望のあり方は。

**答** 地域住民が安心して治療を受けられるように経験豊富な総合内科医が診療をしていたこととなり、医療の充実を図るためにも開院後の状況を踏まえながら市として地域要望を診療所側に伝え、協議していく。  
**問** 診療所開院にあたり交通費助成の対象地域から除外する事

となっている。開院体制や診療科目などの状況からすると継続する必要があると考える。

**答** 昨年12月個人医院の閉院に伴い助成対象としたもので、本制度の趣旨にもとづき、除外することとした。



山部診療所

農業の労働力調整システム

**問** 農業労働力の調整・確保をシステム化する点から現状を踏まえた上で今後の方向性は。

**答** 労働力確保が徐々に厳しく成りつつある現状は把握している。今後は雇用就農者や農業従事者の掘り起こしを図る上で人材の育成・担い手センターを中心とするセミナーを開催し、冬期間雇用の提示も図っていく。

## 渋谷 正文

〔雄飛の会〕

### 需要に応じた富良野米生産

**問** 農業振興における水稻の位置づけは。

**答** 土地利用型作物として重要である。現在まで水張りをしている水田は、排水性の問題等から他作物への転換が困難であり、耕作維持のためには、水田のまま活用することが望ましい。

**問** 米政策改革の市の影響は。

**答** 平成30年度から始まる民間主導による生産調整が機能しない場合には、過剰米の発生が懸念される。これに加え、T P P交渉の行方次第では、米の輸入量が増え、供給過剰となり価格が低下し、生産者の営農意欲が低下することが懸念される。

**問** 米政策改革への対応は。

**答** 民間による生産調整が機能するように、国の役割を一定程度残すよう北海道農業会議を通じて要請した。今後も、全国市長会や北海道農業会議を通じて、実効性のある生産調整の実現と、

米をT P P交渉における重要品目として関税撤廃の対象からの除外を引き続き要請する。

低農薬・良食味をベースとする売れる米づくりを一步進めて、消費者から選ばれる米づくりを行う観点で、関係機関・団体との連携を深める必要がある。



富良野米の収穫風景

**問** 米の売り場確保の戦略は。

**答** 消費者から選ばれる米づくりを推進する。消費者の嗜好を適切に把握し、生産現場に伝え、生産者が主体的に判断できる体制づくりが重要になる。

△その他の質問▽

・総合計画後期基本計画と地方版総合戦略の整合性は。  
・富良野ブランドを活用したふるさと納税制度は。

## 佐藤 秀 靖

〔ふらの未来の会〕

### 富良野市観光経済調査報告書と観光政策は

**問** 今回の調査で宿泊客一人当たりの平均消費額は28,950円。富良野市観光振興計画の目標数値は40,000円としているが目標達成の見込みは。

**答** 夏季の消費単価が増加しているものの、冬季間の観光客の減少、消費単価の減少が全体の消費単価の伸びに大きく影響しており、目標数値の達成は難しい。通年型観光の推進、特に冬季観光の拡大を図り、観光客の満足度を向上させ、消費単価を上げる仕組みを整える必要があると考える。

**問** 基幹産業である観光が地域経済にどのような波及効果があるかをしっかりと、確実に市民に伝える必要が有ると考えるが。

**答** 人口減少や少子高齢化に伴い域内消費が減少する中、観光は地域経済に大きな影響を与えていると認識している。

観光振興には市民の理解や情報の共有による推進が重要。

市民周知の充実に努めたい。

**問** 観光経済効果を最大化するために、域内循環を高める事業者同士の情報交換できる体制づくりが必要と考えるが。

**答** 今回の調査結果において、市内消費率が前回調査よりも減少している。

経済の域外流出を防ぎ、域内循環を高めることは重要であると認識している。

行政・観光協会・商工会議所等が連携した富良野市観光戦略会議を概ね月1回開催している。この場で経済効果を高める域内循環についても意見交換して参りたい。



観光経済調査報告書

岡本 俊

〔市民連合議員会〕

**地域包括支援システム  
の構築は**

**問** 地域包括支援センターが担う医療・民間福祉施設・自治会など関係機関との体制づくりは。

**答** 地域福祉、高齢者、介護保健、地域包括センター、保健医療などを担う担当部署職員による連携チームを立ち上げ、地域包括ケアシステム構築に向け具体的指針を進め、新しい課の設置も念頭に体制強化を図る。

介護予防・日常生活支援総合事業では、介護予防ボランティア



みんなで支える介護制度

アなど介護事業所、各福祉団体、町内会、民間企業など地域の多様な社会資源が実施主体となり、各々が連携を図り地域が支えていくことが重要となる。

今後、地域包括ケアシステム構築を着実に推進するには、各機関からの情報収集と共有を図り、課題の明確化とニーズに合った多様なサービスの提供の検討を図る生活支援コーディネーターとサービス提供主体の協議体を設置し、連携強化を図る。

**まち・ひと・しごと総合戦略は**

**問** 取り組みの基本的考え方と進捗状況について。

**答** 基本的考えは、地域経済の活性化、雇用の場を確保し、子育て世代が安心して子どもを産み育てる環境をつくり、移住・定住・観光振興による交流人口の拡大が重要である。

女性職員・中堅・若手職員のワーキングチームを設置し提言書をまとめ、戦略策定本部を立ち上げ情報収集、地域経済分析を行い、各課に対し総合戦略に盛り込むべき検討を指示している。

大栗 民江

〔無会派〕

**ふるさと納税制度**

**問** 本市のふるさと納税寄付額は、22年度24万5千円、23年度28万円、24年度80万円、25年度108万円で寄付者は10名である。制度拡充に加え、27年第1回定例会では、「自分の生まれ

たふるさとあるいは育った地域への応援という趣旨に重きを置き、ふるさと納税の実施方法を検討していく」との答弁だが市として行政課題の洗い出しや応援していただける周知を含め今後の取り組みの考え方は。  
**答** 本市においては、これまで通り対応していく。

**子育て支援**

**問** 子育て世代のお母さん達からは、他の自治体と比較し本市での子育て支援を望む声を聞く。環境面、経済面の応援で、オンラインの子育てのまちを目指すべきと考えるが見解は。

**答** 地域社会全体で子育てを支



毎月1回のふれあい合同広場

え、安心して子どもを産み、育て、安心して育ちながら育んでいける環境づくりを推進している。

**問** 全天候型屋内遊戯施設について、平成25年第4回定例会では、「どのような対応策が良いのか施設内容や開設場所、運営方法等について総合的に検討していきたい」との答弁だが、その後の検討状況は。

**答** 今後も検討を深めた上で、具体的な対応策を判断していきたい。

**問** 子どもが怪我や病気の際、家計への負担が大きい。乳幼児医療費の拡充の考えは。

**答** 地方版総合戦略及び第5次富良野市総合計画後期基本計画で、総合的に検討していく。

# 一般質問

関野 常勝

〔ふらの未来の会〕

## 在宅介護支援及び介護 予防事業の充実は

**問** 老老介護・認認介護の支援は。

**答** 本市の介護認定者数は、平成26年3月現在で1230人になり、うち原因疾患が認知症の方は310人である。地域包括支援センターを相談窓口として、医療機関への相談、受診を促すことで、予防と進行の抑制が図られると考えている。また、昨年のニーズ調査の結果で、老老介護は55.8%であることを踏



介護の相談窓口

まえ、「ふれあい宅老」、介護保険制度の利用で、介護の負担を軽減していく。

**問** 医療ニーズのある在宅高齢者への支援は。

**答** 医療ニーズの高い方は、在宅でなく医療機関、施設等へ入所をされていると認識し、在宅での看護が必要な高齢者には、訪問看護による支援が行われており、1事業所が24時間対応している。短期入所生活介護（ショートステイ）は緊急を除き、随時対応している。第6期計画では、新たに介護老人保健施設を29床の小規模施設に計画し、うち4床をショートステイとして整備をしていく。

**問** 老人クラブと連携した取り組みは。

**答** 健康づくりをテーマに開催し、毎年延べ300名前後の方が参加している。転倒骨折予防教室は終了し、第6期計画では、介護予防事業として、新たに「ふまねっと運動」を取り入れていき、普及を図っていく。

△その他の質問▽  
・高齢者の閉じこもり防止についての対策は。

## 本会議等の開催状況

◆平成26年1月から12月までの本会議、常任・特別委員会等の開催状況を、お知らせします。

### ■本会議の開催状況

区分	会期日数	会議日数	区分	会期日数	会議日数
定例会	第1回 (3/3~3/20)	18	臨時会	第1回 (5/20)	1
	第2回 (6/16~25)	10		第2回 (11/28)	1
	第3回 (9/12~25)	14			
	第4回 (12/9~19)	11			
計	53		計	2	

### ■常任委員会等の開催状況

区分	開催日数	区分	開催日数
常任委員会	総務文教	予算	4
	保健福祉	決算審査	6
	経済建設	議会広報	14
	計	議会改革	22
		農業委員会委員推薦	2
各種会議	議会運営委員会	計	48
	議員協議会		
	代表者会議		
計	25	総計	143

## 永年勤続表彰



日里議員



北議員



横山前議員



岡本議員

6月17日に東京都において開催された全国市議会議長会第91回定期総会において、本市議会 北 猛俊議員が議長職8年及び議員20年以上、岡本 俊議員並びに日里雅至議員が議員20年以上、横山久仁雄前議員が副議長4年及び議員20年以上の勤続表彰を受け、本会議最終日の6月26日にそれぞれ伝達されました。

## 4月

28日・新人議員研修会

## 5月

7日・第1回臨時会告示日  
8日・代表者会議  
11日・代表者会議  
14日・第1回臨時会  
21日・議会広報特別委員会

## 6月

5日・第2回定例会告示  
8日・正副議長・議運正副委員長会議  
9日・議会運営委員会  
12日・第2回定例会（1日目）  
・総務文教委員会  
・保健福祉委員会  
・経済建設委員会  
・議会広報特別委員会  
22日・第2回定例会（2日目）  
・代表者会議  
23日・第2回定例会（3日目）  
・議会運営委員会  
26日・第2回定例会（4日目）  
・議会報告会役員会

## 7月

1日・総務文教委員会  
6日・総務文教委員会  
・保健福祉委員会  
8日・議会広報特別委員会  
10日・議会報告会役員会  
15日・経済建設委員会  
16日・議会広報特別委員会  
22日・総務文教委員会  
・議会広報特別委員会  
30日・保健福祉委員会

## ■事務調査

●各常任委員会では、議長の許可を受け、閉会中、次の事務調査を行います。

委員会名	調査番号	調査件名
総務文教委員会	調査第1号	図書館について
保健福祉委員会	調査第2号	少子高齢化の実態と対策について
経済建設委員会	調査第3号	市道及び道路環境の整備について

## 可決された意見書

◇第2回定例会に議員提案された意見書は次の3件です。意見書は可決後、直ちに関係機関に送付しました。

●地方単独事業に係る国保の減額調整措置の見直しを求める意見書  
(大栗 民江 議員 外4名)

●地方財政の充実・強化を求める意見書  
(宇治 則幸 議員 外4名)

●「子どもの貧困解消」など教育予算確保・拡充と就学保障の充実、「30人以下学級」の実現を目指す意見書  
(岡本 俊 議員 外4名)

## 傍聴してみませんか

平成 27 年第 3 回市議会定例会の開会予定日をお知らせします。

【日 程】	
9月 7日(月) 開 会 日	9月16日(水) 予 備 日
9月14日(月) 一般質問	9月18日(金) 最 終 日
9月15日(火) 一般質問	

※開催日は変更する場合がありますので、傍聴の際は日程を確認してください。  
※多くの方の傍聴をお待ちしています。

お問い合わせ：議会事務局  
☎39-2322

## 編集後記



▼早いもので、今年も半年が過ぎ、景色も夏の衣替えの時期になっています。緑一色だった6月から花が咲き富良野らしい景観が目に見えます。

▼6月定例会も閉会し、議会広報特別委員会も新しい7人のメンバーで連日紙面づくりの精を出しております。読み易く、わかりやすい広報誌作成を目指し、2年間進めて参ります。どうぞ御愛読下さい。

議会広報特別委員会

委員長 石上 孝雄